



下吉田えきまち研究会通信



目次

1. 前回研究会の振り返り
2. 今後の研究会の予定
3. 申し込み・お問い合わせ

「下吉田えきまち研究会」とは？

下吉田駅前広場を中心とした「下吉田えきまちエリア」の将来のあるべき姿の検討と、実現に向けてのアクションを実践していくための公民学連携の研究会です。月一回程度、平日の夕方に集まり、ワークショップ形式で長期的な視点からのえきまちエリアのビジョンと、短期的な視点からのアクションの検討を進めています。秋（10月～11月頃）には、社会実験を実施し、その成果も踏まえながら、1年かけて提言書をまとめていく予定です。

1. 第3回研究会「駅前広場及び周辺の交通・みちの再編：誰もが安全で快適に過ごせるまちとは？」

場所： 市民会館3階 ギャラリー1・2

日時： 2024年6月25日(火) 18:00～19:30

主な内容： ・第2回研究会の振り返り

- ・駅前広場や周辺地域の交通における、現状と課題の共有
- ・駅前広場に対するアイデア出しワークショップ
- ・今後の研究会の進め方説明



交通・みちに関する課題・現状の整理

第3回となった今回は、第1回研究会においてえきまちエリアの課題として挙げた「下吉田駅前広場及び周辺地域の交通・みちの再編」をテーマに、意見交換を行いました。はじめに、観光客と住民それぞれの立場に着目し、課題と現状を共有しました。

<安全性・快適性>

- ・歩行時の安全性・快適性がよくない
- ・細い道を車が通り、危ない
- ・車通りが多く、危ない

<観光利便性>

- ・レンタサイクルが使いにくい
- ・自転車借りられる場所が少なく、場所がわかりにくい
- ・自転車1時間1100円は高い
- ・中央道下吉田への道が分かりにくい
- ・観光地までのアクセシビリティが低い
- ・観光地までのルートが知られていない
- ・駅前に富士みちへの案内がない
- ・誘導看板をつけてもGoogle Mapsを見ているので見ない
- ・忠霊塔への動線は車が通れないので、回り道をしている
- ・写真を撮りたい人が多く、ところどころ立ち止まっている
- ・高速バスの乗り場がわかりにくい（駅前にあると思って来る人が多い）
- ・タクシーを呼べず、電話で呼んでも別の人が乗ってしまったりといったトラブルが多発

観光客側

<安全性・快適性>

- ・主に車の通行に関する安全性・快適性が低い
- ・観光客が多くスムーズに道を通れない
- ・道に広がる人や飛び出しがあり、危ない
- ・道が舗装されていても観光客が広がって歩く
- ・観光客が信号に気付かない
- ・渋滞だけでなく、交通安全面で運転に気を使う必要が出てきた
- ・観光客が町中どこにでも歩いているし、スマホで見てどこまでも入っていく
- ・路上駐車や白タク行為が多く、運転手のゴミのポイ捨ても見られる
- ・おひめ坂通りの交差点やロータリーで警備員さんが居ないときに（居る場合も）危ない時がある

<生活利便性>

- ・観光客増加によるタクシー不足（免許返納後の高齢者の利用需要）
- 観光客との棲み分けが必要
- ・タウンズニーカーの自由乗降区間を住民に周知した方がいい

住民側

<おひめ坂通りの七差路踏切>

- ・すれ違う際に踏切に入らざるをえない交差点
- ・元々横断が難しいところに観光客（車、人他）が入ってきている
- ・キックボードが危険であり、踏切を渡りたいが渡れない
- ・交差点から富士山が見えることも観光客が来る要因となっている

<下吉田駅前交差点>

- ・歩行者用の信号機がなく、インバウンドの方は渡れるときに渡ってしまう

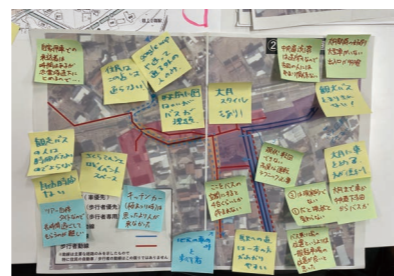
<宮川橋>

- ・歩道が片方しかなく、駐車場の方にはない

<全域>

- ・一方通行の道が多く、分かりにくい

駅前広場



交通・みちに対する提案とアイデア

後半は、課題に対する解決策を盛り込んだ3つの提案について、「各参加者が良いと思った案」ごとにグループを再編成し、提案に対する意見を話し合いました。実際に出た意見や追加提案の一部をご紹介します。

	①現状改善案	②東西歩車分離案	③観光バス乗入規制案
提案の詳細・特徴 + 追加の提案(位置)			
各観点の評価(△・○・●...東大側で事前に評価 実際に出た意見(メモリット・デメリット))	歩行者の安全性・快適性	歩行者動線と車動線が錯綜している現在の危険な状況を改善できる	車社会の地元と観光客とが共存できる 観光客にとっても歩きやすい道になる
	観光利便性	観光バスが停まり切れず、転回もできない	観光バスでの来訪者は時間がないので何か設置しても寄らない可能性がある 観光バスが停まり切れず、転回もできない
	生活利便性	○	○
	実現性	・セイムス裏敷地の駐車場化の話は実際に動いている ・駅西側の月極駐車場が開放されれば、歩行者空間化がすぐに実現できる ・現状と変わらない	・案①と案③の中庸として良い
景観	○	△	○
追加の提案(内容)	<p>A：バス動線を一方通行にする →車両の錯綜を防ぐ</p> <p>B：おひめ坂通り～セイムス裏敷地を車両通行可能にする →観光バスと一般車両の動線を分けつつ、一般車両を集約できる</p> <p>C：駅東側に、車両の回転台や展開が可能となるような立体的な構造物を設ける →バスを転回可能にし、車両が歩行者空間に入り込まないようにする</p>	<p>D：駅前広場の駐車場を歩行者用(駅側)と駐車場(逆側)とに半分に分ける →歩行者の回遊空間を広げる</p> <p>E：セイムス裏敷地は駐車場+休憩スペース/イベントスペースとして活用する →歩行者の安全を確保しつつ、駅前を観光客、住民双方にとって利用しやすいものに</p>	<p>F：歩行者優先の環境空間でのアクティビティを増やす(朝市/直売所/屋台/チャレンジショップ/喫煙所など) →地元の人も利用できるように</p> <p>G：地域資源を活かしたコンテンツをつくる(富士山が綺麗に見えるトイレなど) →観光客を迎え入れ、地域の人も潤う「おもてなし」の広場に</p> <p>H：おひめ坂通り～セイムス裏敷地を、観光バスが進入できる(乗)降場所に →降りるだけだと待つスペースが必要なく、回遊行動も生まれやすい</p>

2. 今後の研究会の予定

7/17(水) 18:00~19:30
@市民会館 3F ギャラリー1・2
地域資源を活かしたまちの魅力の創造
くらしと観光がお互いを高め合うまちとは？
<主な課題>
・富士山の眺めが活かされていない
・街並みの魅力や賑わいが乏しい
・キャッシュポイントや宿泊施設が少ない
・観光客と地域の人との接点・交流が少ない

8/7(水) 18:00~19:30
@市民会館 3F ギャラリー1・2
提案のまとめ+社会実験に向けての意見交換
・第2回～第4回でのテーマごとの提案を共有/統合
・社会実験で実現していきたいことを明確にしていく

10~11月 **社会実験実施**

12月以降
・社会実験の成果/課題の報告
・将来ビジョン作成に向けてのワークショップ

3月 **提言書完成**

3. お申し込み・お問い合わせ

本研究会に参加してみませんか？

ご興味のある方は右記QRをご覧ください。お電話、メール等でもお気軽にお問い合わせください。

担当：富士吉田市ふるさと創生室 ふるさと魅力推進課

TEL：0555-22-1111 FAX：0555-22-0703 MAIL：miryoku@city.fujiyoshida.lg.jp

